
メ～テレ 荒木高伸社長定例記者会見

メ～テレ（名古屋テレビ放送）は3月27日に定例社長会見を開きました



メ～テレ代表取締役社長 荒木高伸

会見の要旨は以下の通りです。

平素から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。2013年度もあとわずかとなりましたが、まずは視聴率からご報告させていただきます。

視聴率につきましては、今月30日で2013年度が締められますが、メ～テレは、ゴールデン、プライム、プライム2で「トップ」となり、年間視聴率に続いて、年度でも2年連続の3冠を獲得できることが確実な状況になっております。開局以来初であった昨年の記録を更新ということになります。全日視聴率は2位となりそうで、こちらも2年連続です。正式発表は、31日に、リリースを発行させていただきます。

前年度から続くこれらの高視聴率は、東北楽天イーグルスが初の日本一に輝いたプロ野球日本シリーズや、サッカーの世界カップ最終予選、フィギュアスケートのグランプリシリーズといった、大型スポーツ番組、そして「相棒」や「ドクターX」といった人気シリーズを取り揃えたドラマなど、質・量ともにさらに充実した番組編成が視聴者の皆様からのご支持をいただいたものと考えております。

ローカル番組では、「ドデスカ！」の年度平均視聴率が第1部、第2部ともに過去最高を更新することが確実です。第2部は前年に記録したばかりの最高記録を早くも塗り替えることとなります。

夕方の「UP！」についても大変好調です。年度平均視聴率は過去最高に迫る水準で、特に下期は過去最高記録を大幅に塗り替え、10%を越えることが確実になりました。

「ドデスカ！」「UP！」ともに4月からはリニューアルします。どうぞご期待のほどよろしくお願い致します。

続きまして、今期の決算の見込みについて、ご説明させていただきます。今期の業績は増収増益を見込んでおります。売上高は4年連続の増収、営業利益は2年ぶりの増益の見込みです。収入面では、スポット収入が、消費税増税前のかげこみ需要にCM出稿も喚起されまして、第4四半期が大きく伸びております。また、サッカー国際親善試合・グランパス対アーセナルなど規模の大きい催事も売上増に貢献いたしました。費用面では、前期に50周年事業として色々な番組、催事に取り組みましたが、今期も番組やコンテンツへの投資を行い、ソフト力の強化に努めております。詳細につきましては、今期の決算が確定した後、6月上旬に経済記者クラブでご説明させて頂く予定です。

さて、本日の会見で、ぜひ皆さまにお知らせしたいことが2つございます。

まずひとつ目は、メ〜テレキャラクターの「ウルフィ」が、10年間かぶっていた羊の皮を脱いでしまうということ。脱いでどうするのか？ 具体的には、4月から「コラボ」をテーマとしたプロジェクトをスタートさせます。ぜひご期待いただきたいと思います。

このプロジェクトの背景ですが、4月からは、第3次中期経営計画が2年目に入ります。「短期的な収支にとらわれず、将来性のある番組・コンテンツに先行投資する」という基本姿勢に変わりはありません。この中期計画の策定にあたっては、若手社員に知恵を絞ってもらい、今後10年間の指針となる「メ〜テレビジョン」を制定しました。「メ〜テレビジョン」を実現するための最初の3年計画を「第3次中期経営計画」と位置づけ、社内で活発な議論を重ねてきました。その結果が、4月スタートの新しいプロジェクトに結びついたということでございます。

もうひとつ、ぜひご注目いただきたいのが、わが国初のダンス専門テレビ局の開局です。メ〜テレは4年前に、新会社・名古屋テレビネクストを設立し、「エンタメ〜テレ」というチャンネル名で、CS放送を中心とした有料チャンネル事業に取り組んでまいりました。この地方では、名古屋市を中心に配信しているケーブルテレビ局「スターキャット」での放送がスタートして、ちょうど1年になります。

そして今年度、新たにもう1チャンネル、有料チャンネルを立ち上げることになりました。それが、わが国初のダンスチャンネルです。この件につきましては、別途リリースを発行させていただきます。

今後ともメ〜テレへのご支援をよろしくお願い致します。